

《企業紹介》

同社はベトナム国内首位級の不動産事業を中核とする企業集団である。国際的競争力のある水準のサービスによって、ベトナムでは確固たるブランドを構築している。事業領域拡大に積極的で、ホテルやリゾートの開発・運営を中心としたホスピタリティ事業、高度医療サービスを中核としたヘルスケア事業のほか、EV（電気自動車）の生産販売を中核とする産業事業を傘下に持つ。

《2025年1-3月期業績》

2025年1-3月期の営業収入は前年同期比286.6%増の84.0兆VND（ベトナムドン）と大幅な増収となった。不動産開発・販売事業の営業収入が、新規の大型住宅開発プロジェクトの受注及び販売が好調に推移したため、同1,061.0%増（約12倍）の55.2兆となったことが牽引している。産業事業の営業収入も同153.6%増15.7兆VNDと大幅な増収が続いている。EV（電気自動車）の販売が同296%増の36,330台となったことが貢献した。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

| | 2024年 | 2024年 | 2024年 | 2024年 | 2025年1-3月期 | |
|-----------------|----------|----------|----------|-----------|------------|-----------|
| | 1-3月期 | 4-6月期 | 7-9月期 | 10-12月期 | | 前年同期比 (%) |
| 営業収入 | 21,739.5 | 43,309.5 | 62,850.0 | 65,243.8 | 84,053.3 | 286.6 |
| 不動産開発・販売 | 4,760.9 | 22,353.4 | 38,146.1 | 27,885.5 | 55,275.3 | 1,061.0 |
| 不動産賃貸 | 2,260.2 | 317.1 | 542.4 | 333.9 | - | - |
| ホスピタリティ | 2,531.8 | 1,462.7 | 2,636.7 | 2,104.7 | 2,514.7 | -0.7 |
| ヘルスケア | 986.9 | 1,132.3 | 1,177.0 | 1,323.0 | 1,223.4 | 24.0 |
| 教育 | 1,626.3 | 1,189.3 | 1,295.5 | 1,843.9 | 1,830.1 | 12.5 |
| 産業 | 6,192.5 | 8,195.9 | 13,810.7 | 25,242.0 | 15,702.9 | 153.6 |
| その他 | 4,719.5 | 12,515.0 | 6,848.0 | 8,932.3 | 9,338.5 | 97.9 |
| 連結調整 | -1,339.6 | -3,861.3 | -2,583.7 | -2,421.4 | -1,831.6 | - |
| 税引前利益 | 2,493.9 | 4,061.8 | 4,705.4 | 5,432.5 | 7,381.9 | 81.7 |
| 不動産開発・販売 | 838.7 | 8,816.7 | 11,062.0 | 14,260.4 | 19,372.4 | 2,209.7 |
| 不動産賃貸 | 1,027.2 | 483.4 | 149.4 | 390.1 | - | - |
| ホスピタリティ | -565.5 | -760.6 | 504.4 | -665.0 | -231.2 | 赤字縮小 |
| ヘルスケア | -320.2 | -199.3 | -247.2 | -130.5 | -217.8 | 赤字縮小 |
| 教育 | 447.6 | -38.7 | -49.4 | 269.4 | 448.0 | 0.1 |
| 産業 | -9,938.1 | -8,939.5 | -9,136.4 | -13,981.6 | -12,996.2 | 赤字拡大 |
| その他 | 345.3 | 865.2 | 27.9 | 1,325.2 | 2,938.6 | 751.0 |
| 連結調整 | 67.6 | -64.4 | 141.9 | -130.0 | 86.3 | - |
| 配賦不能損益 | 10,591.0 | 3,898.9 | 2,283.6 | 4,094.5 | -2,018.2 | 赤字転落 |
| 税引後利益 | 1,335.1 | 684.0 | 2,014.9 | 1,182.5 | 2,243.3 | 68.0 |
| 税引後利益(親会社株主帰属分) | 7,934.5 | -3,403.9 | 5,294.9 | 2,024.7 | 6,978.8 | -12.0 |

注 四半期の売上高、税引前利益、税引後利益は非監査の決算数値を用いている。セグメントの合計、出所 会社資料をもとに当社作成

税引前利益は同81.7%増の7.3兆VNDだった。不動産開発・販売事業の税引前利益が、大幅な増収に加えて採算も改善したため、同2,209.7%増（約23倍）の19.3兆となったことが牽引役となっている。一方、産業事業の税引前損益の赤字額は前年同期の9.9兆VNDから12.9兆VNDへ拡大した。平均販売単価の下落によって営業収入の伸びが販売台数を下回ったこと、引き続き販売ネットワークの拡充といった先行投資負担が大きいことなどが影響し、採算の悪化が続いているようだ。このほか、主に不動産や子会社などの資産売却益で構成される配賦不能損益が前年同期の10.5兆VNDの黒字から2.0兆VNDの赤字に転落したことも足を引っ張っている。税引後利益（親会社株主帰属分）は、少数株主持分の戻入（税引後利益への加算分）が前年同期の6.5兆VNDから4.7兆VNDに減少したため、同12.0%減の6.9兆VNDとなった。

2025年12月期の会社計画は、営業収入が同59.0%増の300兆VND、少数株主持分処理前の税引後利益が同90%増の10兆VNDとなっている。この計画に対する進捗率は、営業収入が28%、少数株主持分処理前の税引後利益が22%となっている。収益水準がやや劣っているが、概ね計画通りの進捗状況といえるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビンググループ(VIC)

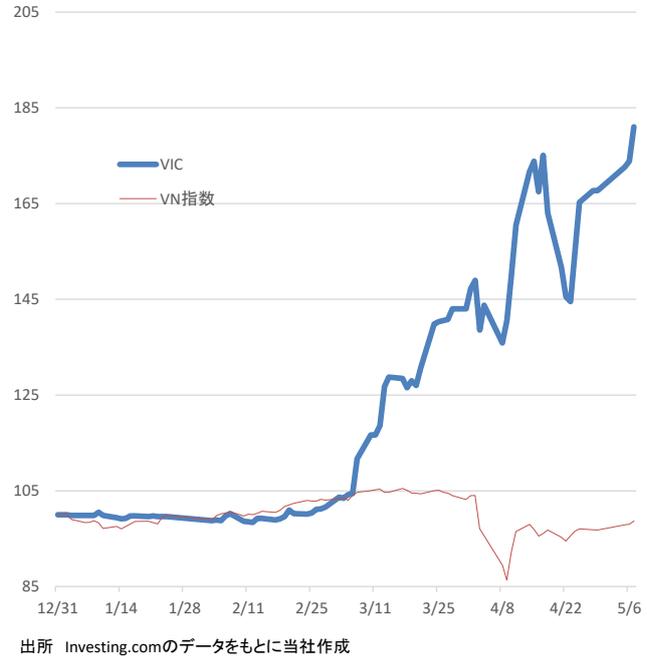


《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2024年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価パフォーマンスは3月中旬まで概ねVN指数と連動して推移していたが、3月下旬以降は急激に騰勢を強め、足元では大幅なアウトパフォームとなっている。5月7日時点でVN指数が2024年末比1%の下落となっているのに対し、同社の株価は同81%の上昇となっている。5月7日の終値73,400VNDで計算した時価総額は280.6兆VNDであり、この水準は2024年12月期実績の税引後利益11.7兆VNDの24倍となっている。

2025年1-3月期業績からは、これまでと同様に、不動産開発・販売事業の収益が産業事業をカバーするという構図に変化はみられず、産業事業に収益改善の兆しはみられない。従って、業績動向が株価パフォーマンスに寄与した可能性は低いだろう。ベトナム株式市場がフロンティア市場から新興国市場に格上げされる観測が強まったこと、その際の海外からの資金流入の受け皿として時価総額の大きい同社が注目されたことなどが株価パフォーマンス改善の要因として考えられるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。